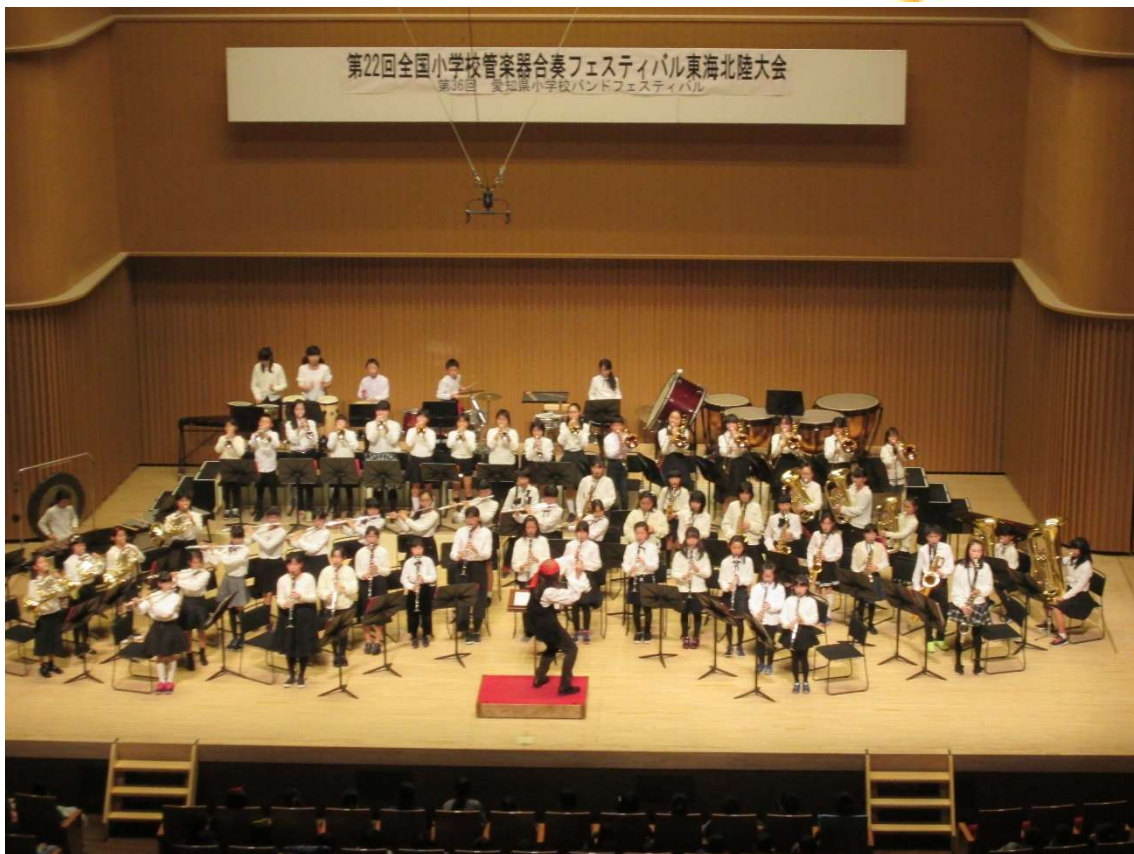


平成30年度

小学校管楽器活動実践事例集（第19集）



東海北陸小学校管楽器教育研究会

## ♪ 目 次 ♪

♪ <u>あいさつ</u>	・・・	1
♪ 各地区の実践		
◇ <u>管楽器や打楽器を効果的に活用した音楽の授業の提案</u>		
愛知県大府市立大東小学校	教諭 市江 真理子	・・・ 2
◇ <u>みんなで楽しく音を奏でよう</u>		
ー小規模校における全校合唱奏への取り組みー		
愛知県田原市立東部中学校	教諭 内藤 利江子	・・・ 8
(H29 田原市立亀山小学校)		
◇ <u>音楽を楽しむ児童の育成</u>		
ー金管バンド部の活動を通してー		
愛知県蟹江町立新蟹江小学校	教諭 岡本 裕嗣	・・・ 10
◇ <u>「地域になくってはならない金管バンドを」掲げて16年</u>		
三重県松阪市 松阪ハーモニックジュニアバンド		
	小島 誠伺	・・・ 12
◇ <u>富山県の小管研の活動について</u>		
富山市立水橋東部小学校	校長 川添 等	・・・ 14
◇ <u>音楽を愛好し仲間とともに成長する児童の育成</u>		
福井県鯖江市神明小学校	教諭 根谷 理砂	・・・ 16
♪ <u>あとがき</u>	・・・	18



## ごあいさつ

東海北陸小学校管楽器教育研究会

会 長 亀島 真治

(愛知県高浜市立翼小学校長)

会員ならびに関係各位の皆さま方におかれましては、日ごろより管楽器活動にお力添えをいただき、ありがとうございます。

さて、平成30年度小学校管楽器活動実践事例集（第19集）が完成し、今年度もこうして発刊することができました。これも東海北陸小学校管楽器教育研究会の皆さまのご理解ご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございます。

実践事例集発刊の目的には「管楽器を活用した実践事例を通して、会員の資質の向上と管楽器教育活動の発展に寄与する」とあります。管楽器教育活動は、音楽の授業の中で、また課外活動など様々な場面での実践が考えられます。大切なことは、子どもたちが管楽器をより身近に感じ、親しみを持ち、興味関心を深めることであると思います。そして、音楽の楽しさを子どもたちが実感し、活動の輪をいっそう広げていってくれることを願うものです。

近年、学校における働き方改革の議論の中で、部活動の大胆な見直しが検討されています。今後限られた時間の中で子どもの主体性を引き出し、技能を高めていくことがこれまで以上に必要となってくることは間違いありません。本実践事例集に収められている内容が、きっとそのような課題に向けての大きなヒントとなることと確信しています。ぜひ、参考にさせていただけたらと思います。

なお、今年度「音楽の楽しさを子どもたちの心に」～人と音楽をつなぐ・つながる・つなげる～を研究テーマとして、全日本の研究大会を東海北陸地区が受けもち、愛知県で開催しました。その大会のなかで、管楽器を活用した「鑑賞」と「音楽づくり」の授業公開をしました。どちらも、演奏家の外部指導者を有効に活用した授業が展開され、今後の管楽器教育におけるひとつの方向性を示すことができたと自負しております。また、同じ会場にて「全国小学校管楽器合奏フェスティバル東海北陸大会」を開催し、大変多くの方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

最後になりましたが、ご執筆をいただきました先生方をはじめ、関係各位の皆さま方には大変お世話になりました。今後とも、本研究会への温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。